

10Ap6

日本真空協会連合講演会原稿サンプル

タイトル : 16 P

日本真空協会 総合研究所¹ 真空技術研究機構²
真空 太郎¹, 鈴木 一郎², 山田 花子²

氏名・所属 : 11 P

1. はじめに

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

片段 23 文字程度

左余白 20mm

カラムマージン 8mm 程度

右余白 20mm

本文 : 10P

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いて

2.

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

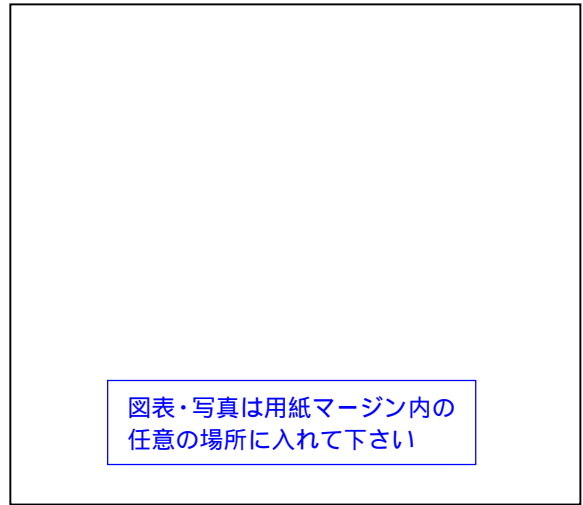


図 1 . 図の表題

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。ここに本文を書いてください。

参考文献

1) K. Tanaka, H. Waki, Y. Ido, S. Akita, Y. Yoshida, T. Yoshida : Rapid Commun. Mass Spectrom., 2 (1988) 151.
2) 辻 泰 : 真空 43 (2000) 54.